

第5章 保健・衛生

1 結核患者数の推移（表1、図1） 【統計編 5-第1表】

令和4年の結核患者のり患率（人口10万対）は、5.9で前年を0.5下回った。

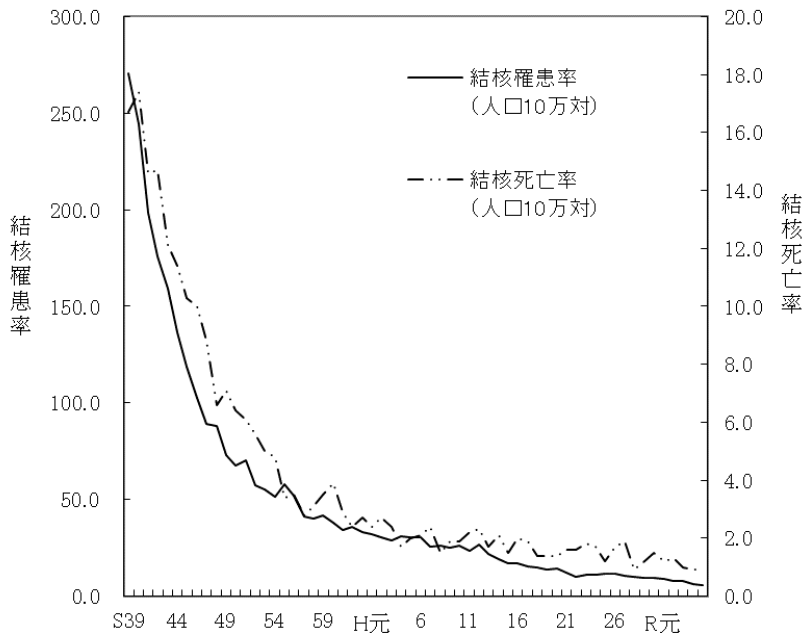
また、結核による死亡率（人口10万対）は減少傾向であるが、令和4年は0.9で前年と同率だった。

表1 結核患者数の推移

年次	新登録 結核患者数	り患率 (人口10万対)	結核死亡数	結核死亡率 (人口10万対)
昭和45	1,709	102.6	167	10.0
昭和50	1,237	70.4	108	6.1
昭和55	953	51.8	64	3.5
昭和60	658	34.4	56	2.9
平成2	566	28.8	46	2.4
平成7	521	26.0	29	1.5
平成12	438	21.6	34	1.7
平成17	296	14.6	28	1.4
平成22	220	11.0	36	1.8
平成27	192	9.7	18	0.9
平成28	183	9.3	24	1.2
平成29	184	9.4	28	1.5
平成30	171	8.8	23	1.2
令和元	156	8.0	24	1.3
令和2	152	7.8	18	1.0
令和3	123	6.4	17	0.9
令和4	112	5.9	16	0.9

【出典】公益財団法人結核予防会結核研究所疫学情報センター

図1 登録率（人口10万対）、結核死亡率（人口10万対）の推移



【出典】公益財団法人結核予防会結核研究所疫学情報センター

2 人工妊娠中絶件数の推移 (表2、図2) 【統計編 6-第8表】

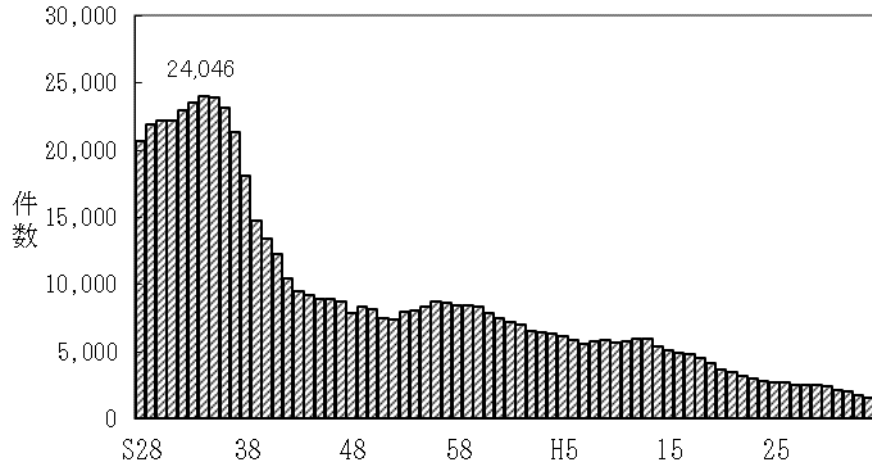
人工妊娠中絶件数は、昭和34年の24,046件をピークに減少傾向にあり、令和4年度は1,604件となっている。

表2 人工妊娠中絶件数の推移

年次	人工妊娠中絶件数
昭和30	22,191
35	23,904
40	13,429
45	8,922
50	8,197
55	8,347
60	8,339
平成2	6,520
7	5,605
12	5,924
17	4,847
22	3,203
27	2,499
令和2	2,040
3	1,783
4	1,604

(注)平成14年以降は年度
【出典】衛生行政報告例

図2 人工妊娠中絶件数の推移



【出典】衛生行政報告例

3 食中毒事件数・患者数の推移 (表3、図3) 【統計編 4-第3表】

食中毒事件数は、年次によるばらつきが大きく、令和4年は6件である。

また、食中毒の患者数は、事件の規模により大きく左右されるため、年次により大きく変動している。

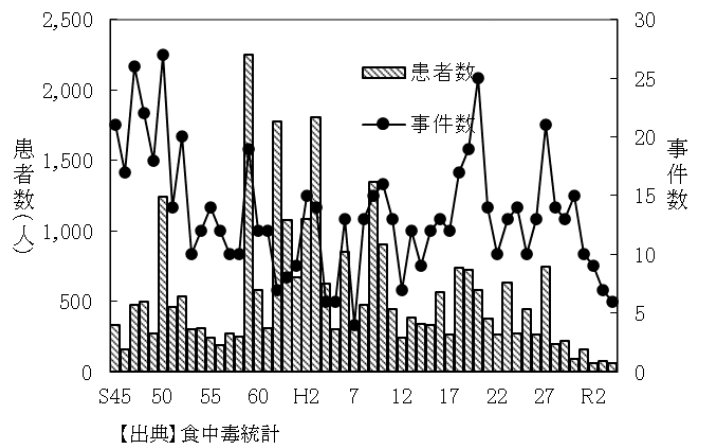
1事件当たりの患者数をみると、令和4年は9.8人となっている。

表3 食中毒事件数等の推移

年次	事件数	患者数	り患率 (人口 10万対)	1事件 当たり 患者数
昭和50	27	1241	70.7	46.0
55	14	238	12.9	17.0
60	12	581	30.2	48.4
平成2	15	1084	55.1	72.3
7	4	341	17.0	85.3
12	7	242	12.0	34.6
17	12	266	13.1	22.2
22	10	264	13.1	26.4
27	21	745	37.8	35.5
令和2	9	63	3.3	7.0
3	7	74	3.8	10.6
4	6	59	3.1	9.8

【出典】食中毒統計

図3 食中毒事件数・患者数の推移



【出典】食中毒統計